２ 月 の 園 だ よ り

【園長の言葉】　　令和元年度　竜光保育園　第 656 号

記録的な暖冬傾向が続き福岡では未だ初雪も観測されず、今冬は、笑顔いっぱいで雪と戯れる子どもたちの笑顔が見れないのだろうかと思うと、少しさびしい気もします。また、先日の保育参観・講演会には多くの皆様にご来園頂きまして有難うございました。子どもたちの日常の生活を通して、少なからず成長を感じることができたのではないでしょうか。

さて、多くの保育園等でもされていることだと思いますが、当園でも誕生会や卒園式の際に、「大きくなったら何になりたいですか?」といった【将来の夢】について子どもたちに語ってもらっています。ヒーローやアイドル、実在する職業等々、あるお子様は目を輝かせながら、あるお子様は、はにかみながら私たちの前で語ってくれます。かく言う私も、小学校時代の文集に「不治の病を治しノーベル賞を受賞する」と語るのもはばかりたい夢を述べた記憶があります。ところで子どもたちの夢を聞きながら、時々ふと思う事があります。私はいつから夢を(声にだして)語らなくなったのだろうかと…。少し前に『同期のサクラ』というドラマが放映されていましたがその中で、大きな夢を持つヒロインが勤務先の会社同期の面前で堂々と発する「私には夢があります。…」から始まる数々の台詞が印象に残りました。今日において、私はこのドラマのヒロインのように大人がもっと夢を語るべきだと思います、特に子どもたちの前で。夢を語れない大人が夢を持てない子どもを増やしているのではないでしょうか。確かに成長するにつれ、自分の夢と現実社会とのギャップ(大きなずれ)を痛感し、夢そのものを埋没させる子どもたちが多くなるのも事実です。しかし、夢そのものの実現も大切だと思いますが、私はその夢を描いている、想像している正にその時の「ドキドキ・ワクワク感」がより大切なのではなかろうかと思います。当初の夢が実現せずとも、この感覚を忘れない限り、必ず次の夢(目標)に向かってポジティブに生きていく事ができると私は信じています。そしてその際に、大人の私たちも子どもの前で堂々と夢(目標)を語りましょう。それは、日常生活の小さな目標でも良いと思います。例え十分な成果が出てなくても、大人と子どもが互いにその過程や成果などを確認し合い鼓舞することにより、次の目標にまたトライしようという気持ちにつながっていくのではないでしょうか。

子どもたちが目を輝かせて屈託なく自由に夢を語ることができる環境・社会をつくっていくことも、私たち大人の責務なのではないでしょうか。

２ 月の行事予定

- 3 日(月) 節分
- 4 日(火) 体操教室
- 6 日(木)～8 日(土) 個人懇談会
  (すみれ 0 歳児組・すみれ 1 歳児組・たんぽぽ組)
- 16 日(日) 幼児音楽祭(さくら組)
- 17 日(月) 身体測定
- 18 日(火) 体操教室
- 20 日(木) 誕生会
- 20 日(木)～22 日(土) 個人懇談会
  (もも組・うめ組)
- 中旬　避難訓練
- ＊3 月 15 日(日)　卒園式(☆梅組参加)

～みんなが元気になる言葉～ №10

「背が低いことがハンデなんじゃないのよ。背が低いのを“弱い”と思うことがハンデになるの!」『あひるの空』(作:日向武史 / 講談社刊)

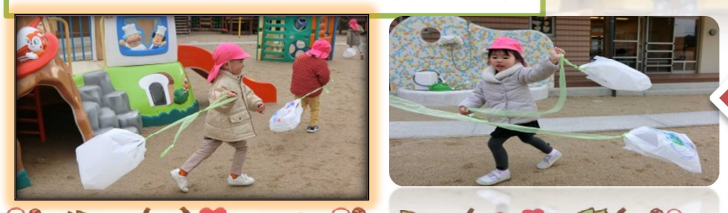
バスケットボールでは有利とは言えない小柄な主人公が、あらゆる困難を克服しながら活躍する漫画の１シーンで、主人公の母親が発した言葉です。ややもすれば、人は物事がうまくいかない場合、自分の生まれ持った環境や置かれている立場のせいにしがちになります。しかしそれでは何も変わりません。置かれたその場所で“もがく”しかないんです。確かに簡単な事ではないですが、何かあった時、こんな言葉を思い出し、自己を鼓舞し、一歩でも半歩でも前進しましょう。

新道寺小学校1年生とのかるた会

１ 月 の 誕 生 会

保育参観＆講演会

手 作 り 凧 揚 げ



クラスだより

さくら組

今月は心待ちにしていた音楽祭です。大きなステージで演奏する事を目標に、毎日おけいこを頑張ってきた子どもたち。当日は、みんなで心をひとつにして楽しみたいと思います。今年度も残り２ヵ月。子どもたちとの１日１日を大切に過ごしていきたいと思います。

うめ組

先日の保育参観では、はさみを使った製作やすてきな数々の作品から、子どもたちの成長が感じられた事とと思います。一人ひとりの成長を認める言葉がけをして、自信を持って憧れの年長さんになる準備を始めていきたいと思っています。感染症については、引き続き十分な配慮を怠らず、体調に気を付けて過ごしていきたいと思います。

もも組

子どもたちは、お当番活動を喜んだり、身の回りの事を自分でしようとするなど、成長が見られます。家庭でも自分でしようと取り組んでいる際には、見守ってあげて下さい。暖かい日も多い今冬、天気の良い日には戸外に出て、身体を動かして遊びたいと思います。

たんぽぽ組

先日の保育参観では、子どもたちの成長を見て頂けた事と思います。園での日々の中では、少しずつですが、自分の身の回りの事を進んでしようとする姿やお話を最後まで聞こうとする姿が多く見られるようになりました。たんぽぽ組も残り２ヵ月となりましたが、一日一日を大切にしながら、冬ならではの遊びを楽しみたいと思います。

すみれ１歳児組

寒さにも負けず園庭でかけっこをしたり、ままごとをしたりと好きな遊びを楽しんでいます。トイレトレーニングにも意欲的で、自分でズボンやパンツを脱いでオマルに座る姿が見られるなど、身の回りの事を自分でしようとする気持ちが出てきています。時間に余裕を持ち、手助けしていきたいと思います。

すみれ０歳児組

先日の保育参観では、子どもたちの成長ぶりを見て頂けたことと思います。１月から、０歳児のお友だちが多くなりクラスが分かれましたが、月齢の高い子どもたちは、「シール」や「ひも通し」など指先を使った遊びにチャレンジしています。月齢の低い子どもたちも指先を使って遊んだり、「ハイハイ」や「伝い歩き」、「ひとり歩き」と探索活動を楽しんでいます。